

日本共産党浦和区後援会ニュース
2017年10月号・No.76
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX 048-833-4515
***** (部内資料) *****

うらわ ね

比例は日本共産党 小選挙区は とば恵候補へ大きなご支援を

日本共産党浦和区後援会

安倍内閣退陣！
憲法9条
改悪許すな！

浦和東口駅前を埋め尽くした志位
委員長街頭演説(9月30日)



安倍首相の大義なき党利党略冒頭解散による総選挙が10日公示、22日投票で開始されました。新しく希望の党が結成され、民進党の「合流」騒ぎなど数日間状況が大きく変わり、「野党共闘」はどうなるのかと心配する声が出ていましたが、日を追うごとに総選挙の争点、対決の構図が明らかになってきました。

対決の構図は、「自・公とその補完勢力(維新、希望)」対「市民と野党の共闘」

多くのメディアは「自・公」と「希望」と「立憲野党」3極の争い、政権選択として「自・公」対「希望」と対決構図を描

いていますが相変わらず興味本位で真実を報道していません。私たちが求めている政治は個人の尊厳を大切に、命と暮らしを守る「立憲主義」、「民主主義」、「平和主義」を輝かせ生かすことです。対決の構図は、9条改憲を狙う安倍暴走政権をこのまま続けさせるのか、それとも安倍暴走政治をリセットして秘密保護法、安保法制、共謀罪法を廃止し、立憲政治を回復するのかがというところにあります。候補者、政党にはそこが問われなければなりません。

希望の党の本質は第二自民党にほかならない

小池百合子氏は「第二自民党

という声がありますが、どう受け止められますか？」というあるインタビューの質問に、「第一をめざしていますので---」と答えていた。自民党との連立や首相指名候補に自民党議員がとり沙汰されても、「結果を踏まえて』と否定をしない。これではまるで自民党の総裁争いではありませんか。前原誠司氏は「安倍政権を終わらせる」ために政権交代可能な野党を結集するという目的で小池人気の「希望の党」に合流しました。しかしどうでしょう。「安保法制」を容認し「憲法改正を支持」するという厳しい踏み絵で選別が行われました。

(2面につづく)

うらわ宿文芸

うらわだいい

しがらみのない政治
しがらみの根幹、日米安保、企業
団体献金、パーティ券、政党助成
金の無い政治ですか

有権者

希望の党小池代表殿

(前地 さぶ老)

「希望の党」
やがては「絶望の党」です

(岸町 佐久間純)

川柳

九条に迷彩服を着せまいぞ
百合子をば大明神と群れる輩
じゃが芋の出来不出来を選別し

(前地 さぶ老)

核はだめ核持つ国が言つ不思議
米朝が挑発し合うバカらしさ
圧力より対話が一番安倍総理

(岸町 だん吉)

俳句

誰彼の不在埋めゆく虫の声
一言で踏ん切りつける天高し
今も効く此の一言根深け

(前地三 寿美礼)

天高し九十二歳の身の屈み
田畑消え建売り区画虫すだく
今年米炊いて大盛佛前に

(前地三 S・M)

初秋や風の音色の馬頭琴
回廊のかすかな傾斜かなかなかな
虫籠を編む一筋の朱を加え

(本太一 Y・Y)



絵手紙 (仲町 海野)

耳より情報

- ◆「安倍内閣退陣、憲法9条改悪許すな！」
埼玉1区・市民と立憲野党でつくる大街頭演説
10月15日(日) 14時~14時50分
浦和駅東口
- ◆浦和区後援会秋のバスツアー
世界遺産「富岡製糸工場」と妙義温泉
11月9日(木) 参加費6,000円

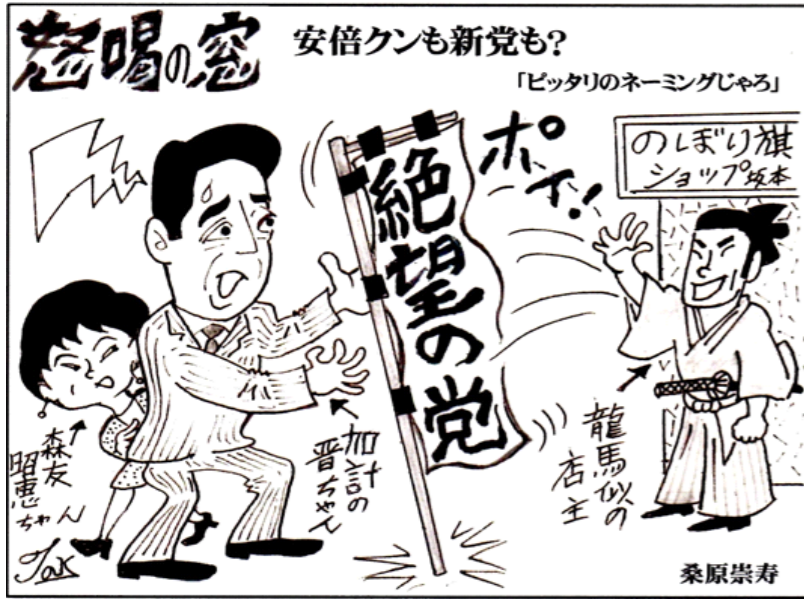
- ◆沖縄に想いをよせて~歌と踊りの集い~
出演 普天間かおり・琉球舞踊の会・
琉球エイサー会
11月11日(土) 13時半(開場12時半)
埼玉会館大ホール
会費 1999円/高校生以下1000円
主催 埼玉革新懇

衆院選投票日
10月22日(日) 7:00~20:00
各投票所

小選挙区選挙...候補者の名前を書いて投票します
比例代表選挙...政党名を書いて投票します
※当日不在の方は、期日前投票を!!

《日々想》

突然の解散・総選挙だ。安倍首相は民進党の混乱や小池新党の準備が整わないうちに、北朝鮮問題を喜々として追い風になったと判断。「してやったり」と解散に突入。しかし、そこに小池新党が登場し民進党が小池新党に合流するという事態に。民進党の背信行為をみて80年の「社公合意」を思いだした。その後、社会党は日米安保堅持、自衛隊容認に踏み出していく。政党としての今回の民進党の背信はさらに重い。市民の連合との約束も一方的に反故にしたからだ。民進党とともに安保法に反対し、連日国会前でデモをしてきた人たちは今どんな思いだろうか。小池百合子都知事は2015年国会議員として、安保法に賛成した人だ。仮に小池新党が政権奪取したとしてもその瞬間から矛盾が噴き出すだろう。市民と野党の共闘の流れにこそ未来がある。(阿)



(1面より)
これでは安倍政権は終わらせても、憲法をないがしろに暴走してきた安倍政治の根幹に対決するものを持っているとは言えません。

総選挙の大きな対決点、安倍9条改憲

今回の総選挙は、憲法9条改憲が最大の争点となっています。自民、維新は9条改憲を選挙公約に盛り込み、希望の党も9条を含めた改憲論議を進めるとしています。憲法改正の発議を自・公だけではやりたくないのが安倍政権の本音でしたから、今回「希望の党」や「維新」を含めて3分の2以上を占めるとしたら結果的には、「安倍政権」を利することになってしまいます。しかし民意は「9条改正」反対が過半数です。民意を歪めての9条改憲の発議は絶対に阻止しなければなりません。そのためには、総選挙では、安倍政権に厳しい審判を下すとともに、自・公と補完勢力を3分の2以下に

抑え込まなければなりません。9条改憲反対の声を「市民と野党」の共闘で大きく広げていくことが非常に重要になっています。

「市民と野党」の共闘で新しい政治を—共闘を進める最大の力=日本共産党の躍進を

市民と野党の共闘は、この2年間、昨年の参議院選挙、新潟県知事選挙、仙台市長選挙などで実績を重ね、全国各地で草の根から「共闘の絆」がたくさんつくられています。日本共産党は、市民と野党の共闘によって日本の政治を変えていくという立場を何よりも大切に前途を切り開く決意を表明しています。6日、小池晃書記局長は「市民と野党の共闘」の立場に立つ候補が240を超える選挙区で一本化される見通しを発表しました。そのうち共産党候補が160を超え、立憲民主党40人、社民党13人、無所属約20人、新社会党1人の方々です。

日本共産党と社民党との候補者一本化の選挙協力合意のもと、埼玉県では、15区梅村さえこ候補、13区社民党の池田万佐代候補をお互いに支援し、5区は立憲民主党の枝野幸男候補当選に向けて奮闘します。

1区はとば恵候補が「市民と野党の共闘」候補に決定

地元埼玉1区は、安保法制廃止・立憲主義回復をめざすオール1区連絡会と、安倍内閣退陣・憲法9条改悪許すな！市民と野党でつくる「10.15大街頭演説」実行委員会(以下「会」)で統一候補を模索してきました。政策協定書を民進党の武正公一氏と共産党の鳥羽恵氏に渡しましたが、武正氏は希望の党に加わるのでと政策協定を断ってきました。「会」はこの経過を踏まえ



「会」の代表に政策協定書を手交する とば恵(予定)候補

鳥羽恵氏を「市民と野党の共闘」候補と決定しました。

「市民と野党の共闘」を前進させ、日本の政治を良くする一番の力、それはぶれない、信頼できる日本共産党を躍進させることではないでしょうか。全国は一つ、比例は日本共産党をと、お友達や知り合いの方に声をかけ広げて下さるよう心からお願い申し上げます。

これでいいのか！大宮駅西口周辺開発

—桜木町駐車場問題に疑問

さいたま市議会議員 とうりつみ敏行



大宮駅西口の「市営桜木町駐車場」は、673台の自家用車や大型バスが駐車できる市民のための駐車場です。さいたま市は、この駐車場をつぶして2020年オリンピック・パラリンピックまでにホテルをはじめとした国際会議場などを有するフルサービスの国内ブランドホテルを建設(MICE計画)しようとしています。大宮駅西口周辺開発は、日本の各圏域が連携・融合する対流拠点としての役割を、国が「首都圏広域地方計画」に位置づけたことから、さいたま市も国際観光都市戦略に位置づけ、「国の重要政策課題における拠点」だとして明け透けに推進してきました。

この間市は、市営桜木町駐車場を候補地として、民間の知恵、技術、経験をいかし、ホテルやコンベンション機能を有する多目的施設などMICE対応施設を目指して「サウンディング型市場調査」を行ってきましたが、調査に参加した13グループや企業のうち11グループから回答があり、いずれも市の財政支援だけでは事業化が見込めないとしながらも、さいたま市の姿勢によって事業の成り立ちが高まると回答し、市による新たな財政支援を求めました。議会に示された資料によれば、サウンディング型調査の結果、建築敷地のうち、宿泊施設や収益施設以外の敷地は無償で貸与することや、ペダストリアンデッキ延伸のための予算を計上しました。

結局、市自らが市民の財産を無償貸与することをはじめ、自ら周辺環境を整備するなど、事業者に言われるままに計画を推進しなければならぬことが明らかになりました。この計画は、2020年のオリンピック・パラリンピックに間に合わせようとする二進めようとしていますが、市場調査の経過や、新たに浮上した土壌汚染問題の処理を考えると、到底2020年には間に合うものではないと考えます。国が国土形成計画に位置づけたからと言って市民の財産を企業に貸し付ける理由はありませぬ。ほとんどの企業が事業化が難しいと言っているのだから計画はやめるべきです。強引に推進しても将来の維持管理に見通しがないのではないのでしょうか。ただちにやめるべきです。

原発事故から6年半が経つ9月初めにツアーに参加した。現地案内役は伊東達也さん。車窓からの除染労働者の住宅棟、津波惨状を説明された。広野町・Jビレッジ場は470億円を投じたトレーニングセンターで東電が福島県に寄付したものの、隣接に県立富岡高校があり、帰還する子息が少なく存続が危ぶまれているとの

しまった。住民がいないこと、帰還困難区域が核のごみの最終処分場に狙われて、町が地図から消えてしまうのではと懸念している」と語られた。伊東さんからは「いわき市民訴訟」の裁判状



早川住職

福島バスツアーに参加して

況。被災者の県内外における避難生活(8万7千人)。魚は検査のため獲るが市場には出せない。幼児、児童(甲状腺ガンの発症)をいかに守るか。また夫婦間、老夫婦息子夫婦の親子間の諸問題に胸が詰まる思いがした。

午後から富岡町の『夜の森のさくら通り』に。ここは花見の憩いの名所でも花見はできない。道路

を挟んで居住制限区域と帰還困難区域とに分かれ、各々の居住者に対して補償金額に大きな差異があり、東京電力の狡猾な分断対応に住民は苦勞しているとのこと。また、困難区域には頑強なバリア門扉が住民侵入を拒んでいる。所々に『原子力明るい未来のエネルギー』の垂れ幕、『エネルギー福祉都市』の立て看板がおぞましい。最後に浪江町。常磐線高架陸橋から左右の市街地は無人化したゴーストタウン、殺伐とした街、原発事故の恐ろしさを如実に物語っている。福島第一原発は40年をかけ、廃炉にするとの東電。補償交渉には誠意のある対応を要望する。10月10日の福島地裁の生業訴訟の判決を注目したい。

(駒場 K・S)